

1月8日のHSBC 中国クオリティ株式ファンド(3ヶ月決算型)の基準価額下落について

HSBC投信株式会社

2016年1月8日

2016年1月8日(金)の「HSBC 中国クオリティ株式ファンド(3ヶ月決算型)」の基準価額が5%以上の下落となりましたので、お知らせ致します。

1. 基準価額及び下落率

ファンド名	基準価額(円)	前営業日比(円)	前営業日比下落率(%)
HSBC 中国クオリティ株式ファンド(3ヶ月決算型)	11,879	-660	-5.3

2. 基準価額下落の要因となった市場動向

株式指数	1月7日	前営業日比(%)
ハンセン中国企業株指数(H株)	8,754.0	-4.2
ハンセン中国レッドチップ指数	3,694.0	-4.0
香港ハンセン指数	20,333.3	-3.1

指数の騰落率は、基準日の前営業日の数値をもとに算出しています。

出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

為替レート(対円)	1月8日	前営業日比(%)
香港ドル	15.20	-0.7

出所:一般社団法人 投資信託協会のデータをもとにHSBC投信が作成

基準価額の下落要因

① 中国株式市場の下落

- ・7日の為替市場では、米国の追加利上げ観測などを背景に中国人民元が対米ドルで軟調となり、中国人民銀行(中央銀行)が発表する基準値が2011年以来の水準へと低下。同日の株式市場では、これが悪材料となり、取引開始直後から株価は下落した。
- ・同日の上海株式市場では、取引開始後の株価の下落幅が一定水準を超えたことから、取引所のルールに基づき株式の売買が一時停止された。取引再開後も、株価の下落が続き、終日の取引停止となった。取引停止により保有株式の換金が困難になることを恐れた投資家からの売り注文が殺到したとみられる。
- ・このような上海市場の混乱を受け、香港上場の中国株式も値を下げる展開となった。

② 香港ドルの対円での下落

- ・中東情勢の緊迫化や北朝鮮による水爆実験の報道、世界的な株安の基調を受け、安全資産とされる円が対米ドルで上昇。この結果、香港ドルの対円相場が下落した。

今後の見通し

- ▶ 最近の為替市場では、人民元は米ドル以外の通貨に対して堅調に推移している。足元の人民元レート(対米ドル)の下落は、人民元安というよりも米ドル高との意味合いが強いと考える。
- ▶ 中国経済については、製造業は停滞傾向にあるが、賃金の上昇を背景に個人消費は底堅く推移。この先3~5年間、中国経済は年率6~7%の成長を遂げると見込まれる。
- ▶ 当面は市場の思惑から株価や為替レートが荒い動きを見せる可能性はあるが、長期的視点では中国株式は割安であり、上述の見通しと合わせ、投資妙味は高いと思われる。



Global Asset Management

留意点

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.78%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- ・ 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ・ 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■お客様が購入時に直接的に負担する費用

購入時手数料：購入価額 × 購入口数 × 上限 3.78%（税抜 3.5%）

■お客様が換金時に直接的に負担する費用

換金時手数料：公社債投信 1 万口当たり上限 108 円（税抜 100 円） ※その他の投資信託にはありません

信託財産留保額：換金時に適用される基準価額 × 0.5%以内

※T&D「Jリートファンド 限定追加型 1402」（当初申込時無手数料）についてはご換金時期により信託財産留保額 3.0%～0.5%（平成 33 年 6 月 1 日以降は無料）をご負担いただきます。

■お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額 × 実質上限年率 2.5704%（税抜 2.38%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他の費用

※上記の他に、組入有価証券等の売買に係る売買委託手数料、監査費用、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。これらの費用・手数料等は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

- 上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、販売会社である香川証券株式会社が取扱うすべての公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

【香川証券株式会社】

商号等 香川証券株式会社

登録 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第 3 号

加入協会 日本証券業協会